

一橋日本史予想論述チェック表【近代：文化史】

【問題】	【POINT】
擬洋風建築の説明と代表例	●明治初期に大工が西洋の建築に似せて建てた建築物。松本市の旧開智学校などが代表的。
矢野玄道の活動	●神祇官に出仕し、のち宮内省で皇室系譜の編纂に従事
福羽美静の活動	●廃仏毀釈・神道政策の推進に尽力した
救世軍の活動を説明せよ	●免囚者保護や売春・公娼制度の廃止を要求する廃娼運動など社会改良事業に尽力した。 ※山室軍平
矯風会の活動を説明せよ	●公娼制度廃止とその更生補導など、女性の地位向上と生活改善に尽力
巖本善治の功績	●キリスト教の精神に基づいて女子教育に尽力。日本最初の婦人雑誌「女学雑誌」を発行し、女性解放運動を推進した。
矢島楨子の功績	●女子学院の初代院長をつとめ、キリスト教に基づいた教育を行った。日本基督教婦人矯風会を設立して会長となり、婦人運動・社会改良事業に尽くした。
近代以降の廃娼運動の推移	●売春を社会悪とみなすキリスト教者らを中心に始められ、日本では1872年に娼妓解放令が出され、いったん公娼制は廃止されたが、すぐに復活●その後、婦人矯風会や救世軍をはじめ多くの団体がこの運動を推進し、第一次大戦期には売春への国際的批判とデモクラシーの高まりなどから矯風会と廓清会が共同して講演や国会請願などの運動を進めた●しかし1931年以降、戦争態勢下では軍によって従軍慰安婦が動員され、廃娼運動は挫折●敗戦後も買売春に対する徹底した規制は行われなかったが、女性団体による抗議運動や世論の高まりにより、1956年ようやく売春防止法が制定●しかし、その後も買売春を根絶することはできず、買売春者の低年齢化やエイズなどの感染拡大が深刻な問題に
小崎弘道の功績	●各地に伝道後上京、基督教青年会(YMCA)を創立し、機関誌「六合雑誌」を主宰。新島襄没後、同志社校長となる。
新島襄の功績	●密出国して渡米。岩倉使節団に随行し欧米の教育制度を視察。帰国後、京都に同志社英学校(のちの同志社大学)を創立。キリスト教精神に基づく教育に専念した。
札幌バンドを代表者を踏まえて説明	●明治初期にクラークの感化を受けてキリスト教に入信した札幌農学校の学生のグループで、新渡戸稲造・内村鑑三らが結成
横浜バンドを代表者を踏まえて説明	●明治初期に横浜でヘボンやブラウンら米国人宣教師の感化を受けてキリスト教に入信した青年のグループで、植村正久らが日本で最初のプロテスタント教会である日本基督公会を興した。
熊本バンドを代表者を踏まえて説明	●熊本洋学校に学び、キリスト教に入信し、同志社英学校に学んだ人々。教学上の責任者ジェーンズの感化でキリスト教に入信した海老名弾正・徳富蘇峰らはキリスト教による人民の啓蒙教化を誓い合った。迫害も起こり、彼らの多くは同志社に移った。
本木昌造の功績	●流込み鉛活字の量産に成功し、これまでの木版木刻活字印刷から近代活版印刷への転換の先駆となった。
オッペケペー節の「堅い上下角とれて」の意味	●四民平等、武士身分の解体●文明開化で洋装が官吏や巡査の制服から民間にも広がり武士

	<p>の服装も変化、ざんぎり頭などが流行、帯刀の禁止、</p> <p>※街灯としてのガス灯・家庭用のランプ・明治中期には電灯・三菱一号館(1894)を含む丸の内赤煉瓦街＝一丁ロンドン</p>
小新聞の内容を大新聞と比較し、その変遷も	<p>●明治の初期から中期の庶民に人気のあった娯楽的な新聞の総称。政論を主にして有識層に読まれた大新聞に比べて、紙幅が狭いので小新聞という。●最初の小新聞は『開知新報』であるが、本格的な小新聞の最初は『読売新聞』。1880年を過ぎると東京の小新聞は政党新聞化し、大阪では『朝日新聞』のように報道新聞への道を歩みはじめた。また、矢野文雄が「郵便報知新聞」を改革し、小新聞の特色である、ふりがなや連載小説を取り入れ値下げを断行する大衆化路線を宣言したことも相まって、日清戦争後には大新聞との区別は消えた</p>
啓蒙思想とは	<p>●個人の理性の自立、人格の尊厳の実現を目指す思想。</p>
壮士芝居が登場する政治的な背景および演劇史上の意義	<p>●壮士芝居は自由民権運動の高まりを背景とし、民権思想を広める手段として登場●日清戦争などの時事や小説を題材とする庶民演劇へ発展し、歌舞伎に対して新派劇と呼ばれた</p> <p>※角藤定憲が中江兆民の後援で大日本壮士改良演劇会を組織</p>
団団珍聞の創刊主宰者と内容	<p>●野村文夫●イギリスの漫画雑誌『パンチ』に範をとった週刊誌で、政治漫画と戯文で明治藩閥政府を風刺し、自由民権思想の鼓吹に努めたが、しばしば発売禁止や発行停止の弾圧を受けた。</p>
川路利良の功績	<p>●司法権と警察権の分離を主張して警保寮の司法省から内務省への移管を建議し、実施される。東京警視庁の大警視となる●警察制度の整備に尽力し、西南戦争では陸軍少将をかねた。</p>
ビゴーの功績	<p>●漫画雑誌「トバエ」などで、日本の風習や時局を辛辣に風刺した。</p>
東京都養育院の初代院長名と内容を説明	<p>●渋沢栄一●江戸町会所の積み立てた資金を原資とした、東京都営の総合的社会事業施設●困窮者救済●行路病者、迷子、捨て子、刑期中の病者などさまざまな種類の対象者の一括收容から、次第に施設の専門化が行われる</p> <p>※渋沢栄一の、松平定信の伝記→「楽翁公伝」</p>
幕末・明治前期において、民衆が情報を得るメディアの展開	<p>●幕末期…別段風説書を通して幕府が海外情報を独占したが、速報性に欠け、また民衆へは瓦版を通して風聞として洩れ伝えられるにすぎなかった●明治期…電信の整備が進むと共に横浜毎日新聞など活字メディアが発達し、海外情報の速報性と伝達量が拡大して情報の民衆への影響力が増加●活字メディアが政論主張の場の性格を強めると、政府は新聞紙条例で統制</p>
丸の内オフィス街の内容と歴史的意義	<p>●三菱が陸軍用地を買収して、オフィス街建設を計画●コンドルの指導で、ロンドンの煉瓦街をモデルに三菱1号館が完成し、13号館をもって完成●一帯は「一丁ロンドン」と呼ばれ、以後の東京は鉄筋コンクリート造の高層ビルディング街に移った。</p>
コンドルの代表的建築物と功績	<p>●鹿鳴館、ニコライ堂、三菱一号館、旧岩崎邸など●日本人建築家を養成するとともに、明治初期の多くの重要な建築を設計、監督し、日本の近代建築の発展に多大の貢献をした</p>

辰野金吾の代表的建築物と功績	<ul style="list-style-type: none"> ●日本銀行本店旧館・東京駅など●明治から大正の建築界に指導的役割を果たし、日本建築学会会長などを歴任
片山東熊の代表的建築物と功績	<ul style="list-style-type: none"> ●京都国立博物館、旧東宮御所→赤坂離宮（1909、現迎賓館）、東京国立博物館など ●宮内省にあって多くの宮廷建築を設計
兵式体操の内容と変遷	<ul style="list-style-type: none"> ●学校教育に取り入れられた軍隊式の体操で、忠君愛国の精神・肉体の育成を目指し、大正期には教練と改称、軍事的性格を強めた。
宮外骨の創刊した雑誌名と活動	<ul style="list-style-type: none"> ●「滑稽新聞」など●大日本帝国憲法発布にあわせ、「大日本頓智研法」を骸骨が授与する戯画を掲載したため不敬罪に問われるなど、権力を風刺してしばしば筆禍をこうむる
久米邦武の著作と活動	<ul style="list-style-type: none"> ●「米欧回覧実記」●岩倉具視に従って欧米を視察●古代史の科学的研究に努めた●論文「神道は祭天の古俗」が神道家から攻撃されて東大教授を辞職
硯友社の結成者と性格	<ul style="list-style-type: none"> ●尾崎紅葉、山田美妙など●欧化主義に対し、伝統的江戸趣味と写実主義をもって明治文壇の中心となった
巖谷小波の功績	<ul style="list-style-type: none"> ●尾崎紅葉らと硯友社を結成●「こがね丸」の成功を機に児童文学に専心し、雑誌「少年世界」の主筆を務めるなど近代児童文学に先駆的役割を果たした●おとぎ話の口演にも力を注いだ。
明治中期・後期の文学史における変化	<ul style="list-style-type: none"> ●明治初めに仮名垣魯文らの戯作文学(江戸後期の遊戯的文芸の総称で、勧善懲悪主義)や矢野龍溪や東海散士、末広鉄腸らの政治小説(政治思想の宣伝・啓蒙を目的とした)が流行したのに対し、坪内逍遙(演劇の改良もこころざした。「当世書生氣質」が『小説神髓』を著し、荒唐無稽なストーリー展開を排し、ありのままの人情や世相を描く写実主義を唱えた。この主張は、二葉亭四迷『浮雲』などの言文一致の試みや、江戸文学の伝統をうけつぎながら写実的な描写を実現させた尾崎紅葉『金色夜叉』などにつながり、近代文学の基礎となった。●その後は感情の優位を強調し、空想・恋愛を重んじ、形式を打破するロマン主義(北村透谷や森鷗外、島崎藤村、徳田秋声、正宗白鳥)が展開●明治後期には人間生活の観察と共に実験的方法を重視する自然主義(国木田独歩や田山花袋、島崎藤村)が始まった●大正にかけては高踏派(夏目漱石や森鷗外)・耽美派(永井荷風)・白樺派(武者小路実篤)が現れた。
明治 20 年代の没理想論争を、「没理想」の意味を踏まえて説明	<ul style="list-style-type: none"> ●坪内逍遙と森鷗外との間で行われた文学論争●〈没理想〉とは、理想や主観を直接表さず、事象を客観的に描くことやその作品●逍遙⇒シェークスピアの作品を「没理想」として規定し、文学の没理想性と記述による帰納的批評を説いた、鷗外⇒価値判断の基準の重要性と美の理想を主張
新体詩を簡潔に説明	<ul style="list-style-type: none"> ●明治初期、新時代にふさわしい思想や感情を表現すべく、西洋詩の影響のもとに創始された七五調、五七調の新詩形
北村透谷の著作と功績	<ul style="list-style-type: none"> ●「内部生命論」●島崎藤村らと「文学界」で活躍し、近代ロマン主義文学の中心となった ●「実世界」を批判し、「想世界」を重視した。肉体的な外部世界に対して、人間の根本となる精神的な内部生命の存在を主張し、恋愛を賛美

<p>明治初期の歌舞伎を説明せよ</p>	<p>●江戸時代以来の伝統をもつ歌舞伎は、明治初期に幕末から活躍していた河竹黙阿弥が、文明開化の風俗を取り入れ、散切物や活歴劇を書いて人気を得、また坪内逍遙は『桐一葉』などの史劇を発表して、歌舞伎の革新をはかった。●1889年には東京に歌舞伎座が落成し、90年代に入ると伝統文化復活の風潮に乗って、市川団十郎・市川左団次・尾上菊五郎らが中心となって歌舞伎界は隆盛をきわめ、いわゆる団・菊・左の全盛時代が出現●この時期の作者としては福地桜痴(源一郎)が名高い。</p>
<p>演劇改良運動を説明せよ</p>	<p>●明治初期から20年代にかけて行われた、歌舞伎を近代化しようとする改革運動。末松謙澄らが演劇改良会を結成し、有職故実家による史実や時代考証の重視などいわゆる活歴劇を進め、女形の廃止なども行ったが、急激すぎて一般観客から遊離し、十分な成果は上がらなかった。</p> <p>※活歴⇒明治以降の歌舞伎劇の様式で、従来の歌舞伎の卑俗・荒唐無稽な点を改め、忠実を重んじ、写真的に演出</p>
<p>伊沢修二の功績</p>	<p>●音楽教育に尽力し、学校唱歌(旧来の三味線音楽・民謡・能楽などを排除)を創始●晩年には吃音矯正を目的とした楽石社を設立●東京音楽学校初代校長。</p>
<p>宮内省雅楽部の功績</p>	<p>●古代以来の宮中祭礼の音楽や伝承曲を整理・継承し、洋楽導入にも貢献した。</p>
<p>岡倉天心の著作と功績</p>	<p>●「東洋の理想」、「日本の覚醒」、「茶の本」など●フェノロサに師事。急激な西洋化が行われた明治において、日本の伝統美術の優れた価値を認め、東京美術学校開設に尽力し、のち校長となる。日本美術院を創立し、明治日本画家の指導者として活躍。●すぐれた国際感覚のうちに、日本及び東洋の文化の優秀性を内外に訴え、「アジアは一つ」と主張し、西洋に対抗するアジアの覚醒とアジアにおける日本の指導的役割を唱えた。</p>
<p>明治政府による美術教育の変遷</p>	<p>●当初は西洋美術の教育を重視し、工部美術学校を開設してフォンタネージに教授させたが、西南戦争後の財政事情の悪化やフェノロサによる日本美術の再評価の提言や国粹主義の台頭により閉鎖●フェノロサや岡倉天心の影響から西洋美術を排して東京美術学校を設立●天心はやがて反対派と対立して校長の職を辞し、日本美術院を創設(その門下からは横山大観・菱田春草・下村観山らが輩出)。岡倉らは院展を開いて日本の絵画の発展を図り、一方、政府もその後文展を開いて岡倉らに協力●日本初の洋画美術団体である明治美術会を結成した浅井忠やフランスで印象派を学び白馬会を結成した黒田清輝(外光派)により西洋画が興隆すると、東京美術学校に洋画科を新設し、伝統美術との共栄を図った。●浅井忠門下の満谷国四郎らは太平洋画会をつくって白馬会に対抗し、浅井忠は京都に移って関西美術院を始め、安井曾太郎・梅原竜三郎らを育てた。このほか、白馬会からでた青木繁は特異なロマン的作風で明治後期の画壇を飾った。</p>

	<p>※岡倉天心の新日本画運動</p> <p>→西洋美術を吸収しつつ新たな伝統美術を創り出そうという試み</p>
福沢諭吉の思想	<p>●幕藩体制の基盤となっていた封建的な身分制度と儒教精神を強く批判し、西洋の実用的な学問を積極的に摂取し、キリスト教ではなく実学によって独立自尊を目指そうとしていた●西洋近代の文明によるアジアの後進性からの脱却、いわゆる脱亜論を説き、また個人の独立、自由、平等は天賦であるとして、儒学に代わる実学の必要を主張●明治初期の思想界に大きな影響を与え、《明六雑誌》《民間雑誌》に発表した多くの啓蒙的論文も大きな役割●自由民権運動には批判的で、日清戦争には熱烈な支持</p>
天賦人權論を簡潔に説明せよ	<p>●人間は生まれながらにして自由・平等であり、幸福を追求する権利があるという思想●明治前期の自由民権運動の理論的支柱●日本国憲法で基本的人権の尊重として受け継がれ、さらに自由権にとどまらず、生存権など社会権の保障へと拡大</p>
日本初の文化財保護法	<p>●古社寺保存法●古社寺の建造物や宝物の保存に関する事項を定めた法律。国宝保存法の制定により廃止●戦後、法隆寺金堂壁画焼失を契機に文化財保護法(名勝天然記念物保存法、国宝保存法、重要美術品等の保存に関する法律なども文化財保護法に吸収されて廃止)が、それに代わって成立。</p>
夏目漱石の著作5つと彼の思想	<p>●「吾輩は猫である」、「坊っちゃん」、「三四郎」、「それから」、「こころ」●西洋の開化を内発的開化、日本の開化を外発的開化とした。自然主義に対立し、心理的手法で近代人の孤独やエゴイズムを超える倫理を追求する「自己本位」を提唱し、晩年は「則天去私」の境地を求めた●</p>
森鷗外の著作4つと彼の思想	<p>●「舞姫」、「雁」、「阿部一族」「高瀬舟」●陸軍軍医としてドイツに留学し、軍医として昇進する一方、多彩な文学活動を展開●夏目漱石と並ぶ反自然主義の巨匠●個人と社会との矛盾・葛藤を、自己の置かれた立場を見つめて甘受するという「諦念」によって克服しようとした。</p>
徳富蘇峰の功績、彼の転向とその後	<p>●徳富は、政府の欧化主義を貴族的欧化主義と批判し、一般国民の生活向上と自由拡大を目指す平民的欧化主義の必要性を主張●民友社を創立し「国民之友」「国民新聞」を刊行●日清戦争前後より国権主義に転じた●第二次大戦中は内閣情報局の指導監督下に結成運営され、天皇制国家主義的傾向が強い思想戦協力組織の大日本言論報国会会長や日本文学報告会会長となる。 ※日本美術報国会の会長は横山大観</p>
1890年頃の国民的自覚を促す言論活動3つ	<p>●三宅雪嶺(高島炭鉱事件→納屋制度下の鉱夫の虐待・酷使の暴露に始まる社会問題)糾弾など鋭い社会批判を行った。)(「真善美日本人」「同時代史」)(政教社→志賀重昂・杉浦重剛)らは雑誌「日本人」で国粹保存主義、陸羯南は新聞「日本で」国民主義を唱え、国民的自覚を広めて一体感を確立し、国家の独立を保とうとした●高山樗牛(「太陽」)は日本主義を主張し、欧化政策の反動として、日本古来の伝統を重視し、国民精神の発揚を唱えた。</p>
西村茂樹の著作と功績	<p>●「日本道徳論」●明六社に参加し、東京修身学社を創設(のち日本弘道会と改称)し、儒教</p>

	<p>的倫理思想に基づく国民道徳の高揚に努めた</p>
加藤弘之の著書と彼の転向について説明	<p>●「人権新説」●初期は「真政大意」などで天賦人権論を広めていたが、後に生物進化論を社会的に解釈し、適者生存などの観点から社会有機体説を説き、「人権新説」を著わして天賦人権論を否定して国家の利益を優先する国権論をとり、民権論に反対した。</p>
那珂通世の功績	<p>●日本、中国、朝鮮の古代史を比較研究し、神武天皇即位紀元の作為性を指摘●高等師範学校に東洋史の科目を創設するなど、近代東洋史学に尽くした。</p>
山本作兵衛の功績	<p>●筑豊炭田の最盛期から閉山に至る半世紀にわたりヤマで働いた経験をもとに、坑内の作業や炭坑町の生活を描いた●絵画や日記、原稿などがユネスコの「世界の記憶」(世界記憶遺産)に日本で初めて登録された</p>
中村正直の訳著と功績	<p>●「西国立志編」「自由之理」(自由民権運動に影響を及ぼした)●明六社の設立に参加し、啓蒙思想の普及につとめた</p>
津田梅子の功績	<p>●8歳のとき日本最初の女子留学生として米国に渡る●1900年に女子英学塾(現津田塾大学)を創立し、明治・大正期の女性教育、英語教育に大きな足跡を残した。</p>
奈良原繁の功績	<p>●沖縄の近代化を専制的に推し進め、〈琉球王〉といわれた●沖縄の土地整理事業、糖業の育成、教育を振興した●土地整理事業は農民からの土地収奪となり、謝花昇らの沖縄自由民権運動と対立し、これに弾圧を加えた。</p>
謝花昇の功績	<p>●沖縄の自由民権運動家で、「民権運動の父」と呼ばれた●開墾地問題などで奈良原繁知事と対立し辞職。その後、知事の暴政批判と参政権獲得運動を展開</p>
山之口獺の功績	<p>●沖縄の詩人で、様々な生活の場面を純朴な目線で書き、「生活の柄」などは後世に歌にもなった。</p>
後藤新平の功績	<p>●第四代台湾総督である児玉源太郎のもとで台湾経営に顕著な働き●南満州鉄道初代総裁、東京市長などを歴任●関東大震災直後には被災した東京の復興のための「帝都復興院」を創設し、リーダーシップを發揮</p>
八田與一	<p>●台湾総督府の技術者として水利事業に従事、烏山頭ダムを中心とする大規模な灌漑施設を完成させ、当地の農業発展に寄与</p>
三田育種場とは	<p>●東京の三田で営まれていた官営種苗会社。農産物の優良な種苗の普及に努めるほか、牛馬や農機具の改良も行われた。</p>
井上哲次郎の主張	<p>●非国家主義・無差別な博愛主義を掲げるキリスト教が、教育勅語の精神に反していると主張し、教育勅語の精神である国家主義を教育の基礎とするべきであるという考えを示し、内村鑑三不敬事件ではキリスト教を批判●ドイツ観念論哲学を紹介し、東西思想の融合、哲学の体系化に努めた</p>
内村鑑三不敬事件を説明せよ	<p>●キリスト教徒の内村鑑三が第一高等中学校での教育勅語奉読式の際、教師でありながら教育勅語に拝礼しなかったことから非難をうけ、教壇を追われた。</p>
【主なお雇い外国人】	
マイエットの功績⇒	<p>保険制度の設立などをたすけた。</p>
モースの功績⇒	<p>大森貝塚を発見。また、「日本その日その日」で日本文化を広め、ダーウィンの進化論を紹介</p>

<p>ナウマンの功績⇒全国地質図を作成し、フォッサ＝マグナを指摘</p> <p>ミルの功績⇒工部大学校で地質学を教授し、日本地震学会の創立に尽力</p> <p>ダイアーの功績⇒工部省工学寮・工部大学校でエンジニア育成の教育を実践</p> <p>ケーベルの功績⇒日本哲学の基礎を築いた</p> <p>ワーグマンの功績⇒「絵入ロンドン＝ニュース」の特派員として来日し、漫画・風俗画を描き、洋画技法も教えた</p> <p>マレーの功績⇒女子教育に貢献した。</p> <p>ホフマンの功績⇒ドイツ医学を教授し、初めて病理解剖をした。</p> <p>ジュ＝ブスケの功績⇒フランス式軍制の導入に努めた</p> <p>グリフィスの功績⇒開成学校で化学を教授</p> <p>ベルツの功績⇒政府に招かれ生理学・内科を講義し、公衆衛生の向上や伝染病の予防に努め、日本の現代医学の基盤づくりに大いに貢献 ※「ベルツの日記」</p> <p>キヨソネの功績⇒大蔵省紙幣寮で有価証券類の印刷原版を作成し、銅版画技術を指導</p>	
<p>【日本人】</p> <p>河口慧海⇒日本人として初めてチベットのラサに至り、チベット仏教を紹介</p> <p>大森房吉⇒地質学上の業績が多く、初期微動継続時間から震央を求める大森公式、大森式地震計など</p> <p>木村栄⇒緯度変化の公式に2項(木村項)を付加すべきことを提唱</p> <p>長岡半太郎⇒土星型原子模型を発表。また地震波の伝播などの研究に業績</p> <p>田中館愛橋⇒緯度観測所、航空研究所の設立やローマ字・メートル法の普及に貢献</p> <p>牧野富太郎⇒独学で植物学を研究。日本各地の植物を採集して歩き、多数の新種を発見・命名。すぐれた植物図を描き、植物採集会を指導</p> <p>桜井錠二⇒池田菊苗とともに溶液の沸点上昇測定法を改良(桜井＝池田法)。理化学研究所設立に尽力し、理論化学の基礎をつくる。</p> <p>菊池大麓⇒日本の近代数学および数学教育の確立に貢献</p> <p>藤沢利喜太郎⇒菊池大麓の指導を受けた。近代数学の確立に貢献</p> <p>小金井良精⇒縄文時代の人骨研究をもとに、日本石器時代人アイヌ説を提唱</p> <p>石川千代松⇒モースの影響を受け、進化理論の研究を推進し、動物学の基礎を築いた</p> <p>下瀬雅允⇒ピクリン酸を主体とした強力な火薬を発明、「下瀬火薬」と呼ばれた。日露戦争で、弾丸や水雷の爆発薬として大きな効果</p> <p>白瀬矗⇒日本人として初めて南極大陸に上陸、その地点を大和雪原と命名</p> <p>金井延⇒ドイツ社会政策学を紹介</p> <p>重野安繹⇒実証主義に基づく史学の基礎を築いた</p>	
成瀬仁蔵の功績	●雑誌「女子教育」を創刊するなど女子教育に尽力。日本女子大学を創設
日露戦争後の日清戦争後とは異なった時代思潮	●日清戦争後は国家主義が主流●日露戦争の勝利により維新以来の国家目標が達成されたとの意識が広まったため、社会的矛盾と自我の問題に目を向ける白樺派などの文学潮流 ※武者小路実篤、志賀直哉、有島武郎ら
浅川巧の活動	●朝鮮総督府において植林事業を行いながら朝鮮語を学び、朝鮮の民芸を研究し、深く朝鮮を愛した。
北里柴三郎の功績	●ドイツでは破傷風の血清療法を確立し、帰国後に伝染病研究所の所長となり、ペスト菌を発見した。

志賀潔の功績	●伝染病研究所に入り、赤痢菌を発見
長与専齋の功績	●岩倉使節団に随行して欧米医事制度を調査し、日本医事制度の基礎をつくる ●牛痘種継所を設立し、伝染病予防、上下水道の改良などに貢献
高峰謙吉の功績	●アドレナリンを抽出し、消化薬であるタカジアスターゼを創製。
鈴木梅太郎の功績	●脚気予防に有効なオリザニン(ビタミン B ₁)を抽出した。
秦佐八郎の功績	●梅毒の化学療法剤サルバルサンを創製
俳句革新運動を進めた人物とその内容	●正岡子規●俳諧から 発句 を独立させて、 俳句 という呼び名を与え、江戸時代以来の陳腐な俳句を、月並み俳句と呼んで否定し、写生による現実密着型の俳句を確立させ、松尾芭蕉の神格化の否定と、 与謝蕪村 の再評価をした。
文芸の、中世から近代に向けての変化	●中世から近世にかけて、 連歌 から 俳諧 が独立して独自の文化となり、文学性が高められる一方で庶民に身近な文芸として広まった●明治・大正期には革新運動のなかで連句の排除が徹底され、発句のみの 俳句 として定着していった。
仁科芳雄の功績	●日本の物理学の発展に指導的な役割を果たす。日本初のサイクロトロンを建設
南方熊楠の功績	●十数か国語を読み、宗教学・考古学など様々な学問に博識を示した。●柳田国男と共に日本民俗学を発展させ、70 種の新粘菌種を発見●明治政府の行った神社合祀政策に反対
伊波普猷の功績	●沖縄学の創始者で「沖縄学の父」●琉球の言語史、文化史の研究に貢献多く、特に古謡集『おもろさうし』を中心に、琉球の古代史、古語、古俗を実証的に研究
高木貞治の功績	●「高木の類体論」は、日本の数学を世界的なレベルに上げた
本多光太郎の功績	●KS 磁石鋼を発明した鉄鋼学の世界的権威
八木秀次の功績	●宇田新太郎と現代のテレビ用アンテナの原型となる電波指向方式の「八木アンテナ」を発明●第二次世界大戦中、電波兵器開発にあたった
野口英世の功績	●渡米してロックフェラー研究所所員となり、梅毒スピロヘータの純粋培養に成功
山本鼎の功績	●日本創作版画協会を結成し、創作版画の発展に尽力●児童のための自由画運動の推進、日本農民美術研究所の設立など、多方面で活躍
自由教育運動を説明	●それまでの画一的で型にはめたような教育のスタイルから、子どもの関心や感動を中心に、より自由で生き生きとした教育体験の創造を目指そうとする運動●大正デモクラシーの風潮を追い風にして広まった● 鈴木三重吉 らの『 赤い鳥 』、 ドルトン プラン、 生活綴方教育
綴方教育運動を説明せよ	●子どもたち自身に、生活上の出来事や、それに関わる思考や感情を作文に素直に綴らせるも、その作品をみんなで検討する作文指導を通じて、生活現実のリアルな認識や文章表現力、主体性などを育てることをめざす教育法
浅草六区の歴史的意義とそのシンボル	●「喜劇王」のエノケン(榎本健一)や声帯模写で人気が出たコメディアン古川ロッパら多くのスターを生み出した●シンボルは日本初の煉瓦造で高層建築物の 凌雲閣 である。

沢柳事件	●京大における教授の任免権をめぐる抗争事件。沢柳総長が学内刷新を唱えて7教授を罷免したのに対して、教授会の同意が必要だとして教授団が抗議運動
沢田正二郎の功績	●新国劇を設立し、殺陣で構成する剣劇を含めた大衆演劇を切り開いた。
松方幸次郎の活動	●川崎造船所社長に就任。ヨーロッパ絵画、彫刻、浮世絵など膨大な美術品を収集、
三木清の活動	●マルクス主義革命運動に大きな影響を与えた。治安維持法違反のかどで投獄され、第2次世界大戦直後に獄死。
時代小説と歴史小説の違い	●歴史小説は忠実に基づくが、時代小説は人物設定などが自由。 ※時代小説→中里介山「大菩薩峠」・白井喬二・直木三十五・古川英治「宮本武蔵」・江戸川乱歩「怪人二十面相」(探偵小説)・大佛次郎「鞍馬天狗」・吉屋信子
森戸辰男への弾圧	●森戸は、「経済学研究」に載せた無政府主義者であるクロボトキンに関する論文が危険思想であるとして休職処分された。
田中館愛橘の功績	●日本物理学の基礎を築いた。地磁気測定・メートル法・ローマ字の普及・航空物理学の発達に寄与
長谷川如是閑	●大阪朝日新聞社に入社。大正デモクラシーをリードする言論活動を展開したが白虹事件で鳥居ら盟友とともに退社
水平社宣言を説明せよ	●西光万吉が起草し、被差別部落出身者が自主的な運動で部落差別からの解放を目指すことを宣言したもの●「人の世に熟あれ、人間に光あれ」という結びの言葉で知られ、日本初の人権宣言
日本最初の社会主義的婦人団体名と活動	●赤瀾会●伊藤野枝、堺真柄、山川菊栄らによって結成され、官憲の弾圧下で独自に活動を行うことはきわめて困難であったが、研究会や講演会を開いて、社会主義の宣伝普及、婦人の地位向上のために努めた
帝都復興院の総裁名と活動	●後藤新平●関東大震災によって壊滅的な被害を受けた東京・横浜の都市復興事業
学校給食の変遷	●関東大震災被災児童に給食を実施したことを契機に貧困児への給食の関心が高まり、1932年、欠食児童の増加に対し、文部省は学校給食実施を奨励、国庫から支出●後には、貧困児の養護から強兵政策を背景とした栄養改善・体位向上へと変化●戦争の激化と学童疎開で廃止●戦後には学校給食法が制定され、輸入脱脂粉乳やガリオア資金によるパン給食などで完全給食が普及し、学習指導要領によって教育活動となった
同潤会とは	●関東大震災の直後に義援金を基に設立。罹災者の救済を住宅団地の経営により行う●その事業のなかで最も有名なのがアパートメントの建設で、日本最初の本格的な公共賃貸共同住宅
杉本京太の功績	●画期的な和文タイプライターを発明した。
九鬼周造の著作と功績	●『「いき」の構造』●日本固有の精神構造あるいは美意識を分析した
アナーキズムの説明	●一切の権威、特に国家の権威を否定して、諸個人の自由を重視し、その自由な諸個人の合意のみを基礎にする社会を目指そうとする政治思想
平塚らいてうらが世間から非難を浴びた理由	●自由恋愛や自由結婚は日本の伝統的なモラルに反すると考えられたから。 ※平塚雷鳥→後に無政府主義へ傾倒、著「円窓より」
「新しい女」を説明せよ	●封建的で古い因習から自己を解放し、自由で自立的な生き方をしたいと欲する女性を表す言葉で、それまでの良妻賢母主義を否定する女性像

母性保護論争を説明せよ	<ul style="list-style-type: none"> ●与謝野⇒女性の経済的自立を掲げ、国家による母性の保護を依頼主義として批判、平塚らいてう⇒母は社会的な使命をもち、妊娠・出産・育児期にある女性は国家によって保護・尊重されるべきと提唱して激しく対立、山川菊栄⇒与謝野の主張を女権主義、平塚の主張を母性主義として整理し、いずれも資本主義社会を前提とした議論であるとして批判、女性にとっては自立も保護も必要であると主張●のちのフェミニズム運動に大きな影響を与えた。
高群逸枝の功績	<ul style="list-style-type: none"> ●平塚らいてうと無産婦人芸術連盟を結成し、アナキズム系の雑誌「婦人戦線」の編集に携わった●のちに女性史研究を確立。
明治から大正にかけての新劇運動	<ul style="list-style-type: none"> ●日露戦争前後には西洋の近代劇の移植が始まる。この先駆者は坪内逍遙で、1906年に島村抱月らとともに文芸協会をおこして、シェークスピアやイブセンの作品を上演。さらに1909年には、小山内薫・市川左団次が中心となって自由劇場を創立し、新劇運動を展開●大正初期、島村抱月が芸術座を結成し、帝国劇場で演じられ、松井須磨子が人気スターとして世の注目を集め、新劇の普及に大きく貢献●小山内薫が土方与志と協力して築地小劇場を創立して新劇をほぼ確立した。また、沢田正二郎によって始められた新国劇が大衆演劇としてしだいに広まっていった。
日本美術院の再興の経緯	<ul style="list-style-type: none"> ●1900年以後は資金の欠乏、院の内紛、綱紀の乱れなどが原因で徐々に沈滞●岡倉が渡米したことにより、同院は事実上の解散状態●1914年、文展(文部省美術展覧会)に不満を持つ大観や観山らは、前年に岡倉が歿したことを契機にその意志を引き継ぐ動きを見せ、日本美術院を再興
フューザン会を説明せよ	<ul style="list-style-type: none"> ●文展系の絵画に反発した高村光太郎、岸田劉生らが組織。当時の青年画家に大きな影響を及ぼした
二科会を説明せよ	<ul style="list-style-type: none"> ●梅原竜三郎らによって結成●新傾向をめざしていたために保守化した文展の審査で不利な立場にあり、在野として独立●常に新傾向の作家を入れ、洋画界の革新に貢献
春陽会を説明せよ	<ul style="list-style-type: none"> ●日本美術院洋画部を脱退した山本鼎らが中心となり、草土社系の岸田劉生や梅原竜三郎を加えて、日本的な絵画を目ざす団体として創立 ※安井曾太郎「金蓉」、梅原龍三郎「紫禁城」、岸田劉生「麗子像」
杉浦非水の功績	<ul style="list-style-type: none"> ●日本初のグラフィックデザイナー
プロレタリア文学運動の統一組織の変遷	<ul style="list-style-type: none"> ●『種蒔く人』(1921)が創刊され、社会主義的な知識人・文学者が結集して、労働者階級の解放運動と結び付いた運動が展開●関東大震災に際して大杉栄、平沢計七らが殺されたのをはじめて、激しい弾圧によって社会主義運動は壊滅的打撃●自然発生的な労働文学を目的意識的な革命文学へ組織することを目指し、まずは日本プロレタリア文芸連盟が結成され、『文芸戦線』はその機関誌となった。翌年には活動方針の対立から日本プロレタリア芸術連盟となり、プロレタリア文学は組織的な文学運動として発展させられることになったが、文学組織の分裂抗争も始まり、弾圧と徹底的な政治性への志向による内部矛盾のためしだいに衰退●分裂を繰り返してプロ芸、労芸、前芸の三派鼎立時代が出現●三・一五の大弾圧の直後にナツが結成されたが、指導的メンバーが相次いで検挙され、機関誌もほとんど毎号発禁となるなど弾圧が激化し、1931年の満州事変以

	<p>後はファッション化、反動化の傾向が一段と強まる●その後、コップが結成され機関誌『プロレタリア文化』を創刊されたが、弾圧はいつそう激化し、指導的メンバーは根こそぎ検挙され、合法活動の可能性を奪われ、結局、戦争の波に飲み込まれていった。</p> <p>※小林多喜二「蟹工船」・徳永直「太陽のない街」・葉山嘉樹「海に生くる人々」中野重治・宮本百合子</p>
河東碧梧桐の功績	●正岡子規に師事し、高浜虚子と並んで子規門の双璧●子規歿後は新傾向運動を展開し、ヒューマニズム色のある個性的な自由律
山田耕柝の功績	●東京フィルハーモニー管弦楽団を組織、日本に交響楽を定着させるために活動●日本の歌劇運動を推進するため、日本楽劇協会を組織
近衛秀麿の功績	●山田耕柝とともに日本交響楽協会を創立、のち新交響楽団(現 NHK 交響楽団)を結成。日本の交響楽団の育成に努める
三浦環の功績	●ロンドンでオペラ「蝶々夫人」に主演して成功し、以後オペラ歌手として世界的名声
童謡運動の推移	●教育勅語によって普通教育の根本方針がすえられ、天長節、紀元節など国家の祝祭日の儀式での歌の指導が重視され、日清戦争以来、軍歌がしばしば学校に持ち込まれた。●20世紀に入り 唱歌教育への批判 が強まり、「赤い鳥」などを舞台に北原白秋らによって童謡運動がおこされた。これらは学校の音楽教育を子どもの興味、関心に近づけるものであった。
1920年代後半から30年代前半における思想・文化状況	●20年代後半には治安維持法下にも関わらずマルクス主義が知識人に巨大な影響力を持ち、社会主義理論に基づく プロレタリア文学運動 が隆盛●30年代前半には共産党員の 大量転向 が進行し、 国家社会主義 の主張が高まった。
小林秀雄の功績	●批評を文学のジャンルとして確立し、当時のプロレタリア文学を政治的「意匠」をまとったものとして批判
加藤周一の功績	●日本の文化の特色は、他国の文化を積極的に吸収して成立した雑種文化にあると主張
国家社会主義の代表政党とその結成者と内容	●日本国家社会党●赤松克麿●日本の国家と社会とを改造して、全体主義的に平等な国民生活の実現を目指すもので、そのためには日本の海外進出もやむを得ないとする考え。
武者小路実篤の功績	●「お目出たき人」、「友情」などで楽天的な人生肯定の態度を批判し、戯曲「その妹」では封建制を批判●理想主義、人道主義の実践の場として、人間が個性を発揮しながら社会の調和も実現できる場として 新しき村 という共同生活を行う農場を建設
遠星北斗の功績	●昭和時代前期のアイヌ民族解放運動家、歌人●差別と貧困にくるしむアイヌ民族の復権を説き、雑誌「コタン」を創刊。
日本の近代以降の映画の展開を説明せよ	●1890年代末に英・仏から輸入され、神戸・大阪・東京などで公開●1899年に国産映画を初制作、のちに浅草の電気館が 活動写真 の常設館に●1912年に 日活 が創立され、20年に 松竹 が映画制作に乗り出した●昭和初期までは 無声映画 で、 活動弁士 が説明したが、1931年に画面と音声为一体となった トーキー が始まり、51年に カラー映画 が登場
西田幾多郎の功績	●「善の研究」を発表し、西洋哲学に東洋思想を持ち込んだ独自の哲学を展開
京都学派の説明	●西田幾多郎および田辺元の哲学探究の伝統を引継いだ京都大学哲学科出身の哲学者たちのグループ

鈴木大拙の功績	●仏教、特に禅の思想や日本文化の海外紹介に努めた
石原莞爾の活動	●板垣征四郎らと満州事変をおこし、満州国建国を推進●持説の「 世界最終戦争 」にもとづく日米決戦を想定し、全満州の植民地化を構想した。対中戦不拡大を主張して東条英機と対立 ※ 東亞連盟 …日中戦争の長期化と日本の国力消耗を憂慮した石原が、中国民族運動の高揚に触発されて石原構想の実現を旨とした理念及び団体
河上肇の著作と功績	●「貧乏物語」●奢侈の根絶による貧乏廃絶を説いた。さらにマルクス主義経済学へ進み、その最高権威となった。
内藤湖南の主張	●邪馬台国の大和説を主張した
白鳥庫吉の功績	●日本古代史では邪馬台国北九州説の先駆者
転向文学者 3 人	●中野重治の「村の家」。島木健作の「生活の探求」。亀井勝一郎の「日本浪漫派」。
日本浪漫派 2 人とその立場	●保田与重郎。亀井勝一郎●転向と左翼文学運動の壊滅、急激なファッション化という時代状況において、一切の政治的なものを排除して美的感覚の世界に自由を求め、日本の美的伝統に回帰
戦争文学者 2 人	●火野葦平の「麦と兵隊」。石川達三の「生きてゐる兵隊」。
古賀政男の作品と功績	●「酒は涙か溜息か」●歌謡曲を多数作曲。昭和初期の不景気と不安の時代を反映した哀調が大衆に受けた
矢内原事件を説明	●矢内原忠雄は『中央公論』に日本の軍国主義に対する婉曲な批判を内容とした『 国家の理想 』を発表、当局により全面削除処分となった
河合栄治郎事件を説明	●「 ファシズム批判 」で反軍・反戦思想の宣伝をして政府の政策を批判したことにより、著書の発禁と休職処分となった事件。
津田左右吉の弾圧について	●早稲田大学教授の津田左右吉は、 記紀神話の合理的な文献批判 が皇室の尊厳を侵したとされ、著書が発禁となった。
宗教団体法とは。また新興宗教2つとその創始者	●宗教法規の整備統一を図り、宗教団体の地位を明確とし、保護・監督を強化することで、国家の統制下に宗教団体を置くことが目的● ものみの塔 の日本支部を設立した明石順三。ひとのみち教団を回教した御木徳一・徳近父子。
戦争記録画の目的とその代表者	●戦意高揚のため●鶴田吾郎の「神兵パレンバンに降下す」。藤田嗣治の「アツツ島玉砕」「血戦ガダルカナル」
杉原千畝の功績	●第二次世界大戦中のリトアニアで、ナチスの迫害を逃れてきたユダヤ人に対して、日本政府の命令に背いて日本通過ビザを発給し、約 6 千人もの命を救った
角田柳作の功績	●日本文化の研究と教育のためコロンビア大に日本文化研究所を設立。
清沢冽の功績	●ジャーナリストで、朝日新聞・東洋経済新報などを舞台に、軍国主義に同調せず、自由主義者として外交・政治評論に活躍
朝河貫一の功績	●日本の荘園史と西洋の荘園の比較などを行った歴史学者で、第 2 次大戦中には日米開戦を阻止するため大統領書簡を天皇に送ろうと奔走するなど、一貫して平和や協調外交を訴えた

正木ひろしの功績	●弁護士であり、軍国主義を批判し、戦争反対を訴え続けた。
桐生悠々の功績	●新聞記者であり、軍国主義やファシズムに傾斜する社会に警鐘を鳴らし続けた。
横田喜三郎の功績	●法学者であり、国際法学の立場から満州事変や真珠湾攻撃の違法性を主張
横浜事件の内容	●「改造」に掲載された、細川嘉六の論文「世界史の動向と日本」を、特別高等警察は共産主義の偽装宣伝であるとして発禁に処して細川を検挙し、これが戦争に批判的であったジャーナリズムへの弾圧に拡大●厳しい取調べで出版関係者に多くの犠牲者が出て、「中央公論」、「改造」は廃刊